

教科(科目)	数学(応用数学Ⅰ)	単位数	単位	2	学年(コース)	3年生(理系)
使用準教科書	新編 数学Ⅰ(数研出版) 新編 数学A(数研出版)					
副教材等	新課程リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C(数研出版) 共通テスト対策【実力養成】数学Ⅰ・A 30分演習改訂版					

1 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせて、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して社会の事象などから設定した問題に対して、相互に関連付けて論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
--

2 指導の重点

数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数、確率及び図形について、技能の習熟を図り、関連付けた発展的内容に取り組むことで、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、数学的に考える資質・能力を高める。
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
評価の観点	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 検査点 90%	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 検査点 90%	評価の割合 20/100点 各観点での振り返りへの取り組み状況・授業態度 100%

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
1 学 期	数と式 (I)	3	複数の文字を含む因数分解 絶対値を含む不等式	【知識・技能 a】 基本的な概念、原則・法則を理解し、知識を身につけて、それらを利用する。的確に処理・表現することができる。 【思考力・判断力・表現力 b】 問題を多面的に見たりして、いろいろな問題の事象の考察に活用することができる。 【主体的に取り組む態度 c】 各単元での振り返りにより、学習内容が理解できる。学習内容を応用問題への考察に活用し、積極的に考え方を伝えている。	課題考査
	集合と命題 (I)	2	集合の要素の決定 背理法による証明		
	2次関数 (I)	4	最大・最小からの係数決定 2次方程式の解の存在範囲		
	図形の計量 (I)	1 3	三角形と正弦の比 三角形の外接円、内接円 円に内接する四角形の面積 測量への応用		中間考査
	データの分析 (I)	3	箱ひげ図に関する正誤問題 変量の変換		
	場合の数と確率 (A)	3	組合せの方法の数 最短経路の数 反復試行と点の移動 原因の確率		
	図形の性質 (A)	1 4	4点が1つの円周上の証明 正多面体の体積		期末考査 課題考査
2 学 期	数学 I A 総演習	9	分野横断的な応用問題をグループで相談しながら、問題解決能力を養う。		中間考査
		13			期末考査
		14			
3 学 期	探究課題	4	【課題学習】 他の単元との関連について考え、さまざまな別解を考えることで総合的かつ多角的に課題を扱う。		期末考査

6 課題・提出物等

- ・定期考査ごとに課題の取組を点検します。
- ・提出物（タブレットに配信した課題も含みます）への取組を点検します。

7 担当者からの一言

応用数学Ⅰでは、1学年に履修した数学Ⅰ・Aの内容を復習し、発展的な問題を解く力を養っていきたいと思います。問題を1回だけ解けば身につくものではありませんので、家庭での復習を大切にして力をつけていってください。

教科(科目)	数学(応用数学Ⅱ)	単位数	単位	2	学年(コース)	3年生(理系)
使用準教科書	新編 数学Ⅱ(数研出版) 新編 数学B(数研出版) 新編 数学C(数研出版)					
副教材等	新課程リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C(数研出版) 共通テスト対策【実力養成】数学Ⅱ・B・C 30分演習					

1 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせて、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 指導の重点

式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数及び微分法と積分法、数列、統計的な推測、ベクトル及び2次曲線と複素数平面について技能の習熟を図り、関連付けた発展的内容に取り組むことで、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、数学的に考える資質・能力を高める。
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
評価の観点	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 査点 90%	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 査点 90%	評価の割合 20/100点 各観点での振り返りへの取り組み状況・授業態度 100%

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
1 学 期	式と証明(Ⅱ)	3	多項展開式の係数 根号や絶対値を含む不等式の証明	【知識・技能 a】 基本的な概念、原則・法則を理解し、知識を身につけて、それらを利用する確に処理・表現することができる。 【思考力・判断力・表現力 b】 問題を多面的に見たりして、いろいろな問題の事象の考察に活用することができる。 【主体的に取り組む態度 c】 各単元での振り返りにより、学習内容が理解できる。学習内容を応用問題への考察に活用し、積極的に考え方を伝えている。	課題考査
	複素数と方程式(Ⅱ)	3	多項式の割り算と余りの決定 3次方程式の解と係数の関係の利用		
	図形と方程式(Ⅱ)	3	線対称な点の座標 2円の交点を通る直線と円 三角形の重心の軌跡(連動系)		
	三角関数(Ⅱ)	1 3	三角方程式、不等式 三角関数の最大・最小		中間考査
	指数関数と対数関数(Ⅱ)	3	指数関数・対数関数の最大・最小 桁数・小数首位		
	微分法と積分法(Ⅱ)	3	極値から関数の係数決定 図形の最大・最小 方程式の実数解の個数		
2 学 期		1 3	定積分を含む等式の満たす関数 グラフと接線で囲まれた図形の面積 面積の条件から係数決定		期末考査
	数列(B)	3	いろいろな数列の和 群数列 分数式で表される漸化式 隣接3項間の漸化式		課題考査
	統計的な推測(B)	2	連続型確率変数 母比率の推定		
	ベクトル(C)	2	交点の位置ベクトル 終点Pが動く範囲の面積 直線と平面の交点		
	2次曲線・複素数平面(C)	2	複素数の絶対値 2次曲線の利用		
		1			中間考査

3 学 期	数学ⅡBC 総演習	13	分野横断的な応用問題をグループで相談しながら、問題解決能力を養う。		期末考査
		14			
	探究課題	4	〔課題学習〕 他の単元との関連について考え、さまざまな別解を考えることで総合的かつ多角的に課題を扱う。		期末考査

計 64 時間 (55 分授業)

6 課題・提出物等

- ・定期考査ごとに課題の取組を点検します。
- ・提出物（タブレットに配信した課題も含みます）への取組を点検します。

7 担当者からの一言

応用数学Ⅱでは、2学年に履修した数学Ⅱ・Bと3学年で履修する数学Cの内容を復習し、発展的な問題を解く力を養っていきたいと思います。問題を1回だけ解けば身につくものではありませんので、家庭での復習を大切にして力をつけていってください。

教科(科目)	数学(応用数学Ⅲ)	単位数	単位	3	学年(コース)	3年生(理系)
使用準教科書	新編 数学Ⅰ 新編 数学A 新編 数学Ⅱ 新編 数学B 新編 数学C (数研出版)					
副教材等	新課程リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C (数研出版) 共通テスト対策【実力養成】数学Ⅰ・A 30分演習 共通テスト対策【実力養成】数学Ⅱ・B・C 30分演習					

1 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせて、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

2 指導の重点

数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、場合の数、確率、図形、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数及び微分法と積分法、数列、統計的な推測、ベクトル及び2次曲線と複素数平面について技能の習熟を図り、関連付けた発展的内容に取り組むことで、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、数学的に考える資質・能力を高める。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
評価の観点	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 査点 90%	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 査点 90%	評価の割合 20/100点 各観点での振り返りへの取り組み状況・授業態度 100%

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
1 学 期	数と式 (I)	3	複数の文字を含む因数分解 絶対値を含む不等式	【知識・技能 a】 基本的な概念、原則・法則を理解し、知識を身につけて、それらを利用するの確に処理・表現することができる。 【思考力・判断力・表現力 b】 問題を多面的に見たりして、いろいろな問題の事象の考察に活用することができる。 【主体的に取り組む態度 c】 各単元での振り返りにより、学習内容が理解できる。学習内容を応用問題への考察に活用し、積極的に考え方を伝えている。	課題考査
	集合と命題 (I)	2	集合の要素の決定 背理法による証明		
	2次関数 (I)	3	最大・最小からの係数決定 2次方程式の解の存在範囲		
	図形の計量 (I)	3	三角形と正弦の比 三角形の外接円、内接円 円に内接する四角形の面積 測量への応用		
	データの分析 (I)	3	箱ひげ図に関する正誤問題 変量の変換		
		1			
	場合の数と確率 (A)	3	組合けの方法の数 最短経路の数 反復試行と点の移動 原因の確率		中間考査
	図形の性質 (A)	2	4点が1つの円周上の証明 正多面体の体積		
	式と証明 (II)	3	整式の割り算、恒等式 等式・不等式の証明		
	複素数と方程式 (II)	3	多項展開式の係数 根号や絶対値を含む不等式の証明		
2 学 期	図形と方程式 (II)	3	多項式の割り算と余りの決定 3次方程式の解と係数の関係 の利用		期末考査
		1			
	三角関数 (II)	3	線対称な点の座標 2円の交点を通る直線と円 三角形の重心の軌跡(連動系) 三角方程式、不等式 三角関数の最大・最小		

3 学 期	指数関数と対数関数（Ⅱ）	3	指数関数・対数関数の最大・最小 桁数・小数首位		課題考査
	微分法と積分法（Ⅱ）	4	極値から関数の係数決定 図形の最大・最小 方程式の実数解の個数 定積分を含む等式の満たす関数 グラフと接線で囲まれた図形の面積 面積の条件から係数決定		
	数列（B）	3	いろいろな数列の和 群数列 分数式で表される漸化式 隣接3項間の漸化式		
	統計的な推測（B）	2	連続型確率変数 母比率の推定		
	ベクトル（C）	2	交点の位置ベクトル 終点Pが動く範囲の面積 直線と平面の交点		
	2次曲線・複素数平面（C）	2	複素数の絶対値 2次曲線の利用		中間考査
		1			
	数学Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 総演習	19 23	分野横断的な応用問題をグループで相談しながら、問題解決能力を養う。		期末考査
	探究課題	4	〔課題学習〕 他の単元との関連について考え、さまざまな別解を考えることで総合的かつ多角的に課題を扱う。		期末考査

計 96 時間 (55 分授業)

6 課題・提出物等

- ・定期考査ごとに課題の取組を点検します。
- ・提出物 (タブレットに配信した課題も含みます) への取組を点検します。

7 担当者からの一言

応用数学Ⅲでは、1, 2 学年に履修した数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの内容と3学年で履修する数学Cの内容を復習し、発展的な問題を解く力を養っていきたいと思います。問題を1回だけ解けば身につくものではありませんので、家庭での復習を大切に力をつけていってください。

教科(科目)	外国語 (英語セミナーB)	単位数	単位	2 単位	学年(コース)	3 学年
使用準教科書	PANORAMA English Communication 3 (大修館) be English Logic and Expression III Clear(いっずな書店)					
副教材等	共通テストドリル10minutes 英語リーディング/リスニング					

1 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常的な話題や社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いる。
- (2) 日常的な話題や社会的な話題について、状況に応じて論理の展開や表現の工夫を行い、運用する力を養う。
- (3) 事前の準備などにおいて、習得したことを活用して、多様な表現で伝えることを目指す。

2 指導の重点

- (1) 日常で起きた事象や社会的な出来事を読み、要点を捉えて理解すること
- (2) 読解を通して作者の意図を素早く理解して整理できること
- (3) 読んで理解したことを整理して自分の意見をまとまりのある文章で書くこと

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞く、読む、話す[やり取り・発表]、書くために必要となる語彙や表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題についての説明を読み取り、情報や考えを理由とともに伝える技能を身につけている。	日常的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、相手や状況に応じて伝えている。世界の諸問題の書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えている。	日常的な話題や社会的な話題についての意見や考えを、習得したことを基に活用して多様な表現で伝えようとしている。聞いたり読んだりしたことを基に、概要や要点を捉えようとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	- ペーパーテストの分析 - 教科書に準拠した文の内容の確認 - ワークシート、自由英作文、提出物などの内容の確認 - 作品制作の表現の観察などから、評価します。	- ペーパーテストの分析 - 授業中の発言、発表への取組の観察 - ワークシート、自由英作文、提出物などの内容の確認 - 振り返りシートの記述の分析などから、評価します。	- 授業中の発言、発表への取組の観察 - ワークシート、自由英作文、提出物などの内容の確認 - 振り返りシートの記述の分析などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A: 十分満足できる」、「B: おおむね満足できる」、「C: 努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	1. 健康・化学	・日常で起きた事象に関する英文を読んで、英語で意見をまとめる。	・関連する話題について情報や考えを論理的に話す	6	ワークシート、 振り返りシート、 パフォーマンステスト、 英作文
5	2. 動物・環境		・関連する記事を読み、意見交換する	6	
6	3. 環境・生活	ア 英文を読む	・危機を認識しているか否かについて考えを論理的に書く	6	
7	4. 食文化・歴史	イ 要点を整理して問題に解答する	・インタビューから要点を整理して、具体例を挙げながら論理的に書く	6	
	5. 人物・ドラマ	ウ 単元の習得目標項目を意識して訳す	・記事を読み、情報や考えを論理的に話す	6	
		エ 自分の言葉でまとめる			
		オ 語彙・語法の整理			
8・9	6. IT・健康	ア 英文を読む	・機器の有効活用について自分の考えを論理的に書く	6	ワークシート、 振り返りシート、 パフォーマンステスト、 英作文
10	7. 心理・コミュニケーション	イ 要点を整理して理解する	・自分の考えや体験をやりとりし、発表する	6	
11	8. 異文化理解・歴史	ウ 自分の言葉で要点をまとめる	・利点と欠点について論理的に整理して話す	6	
12	9. 心理・メディア	エ 発表する	・関連する話題についてやりとりし、自分に影響する要素について論理的に書く	6	
	10. 宇宙・科学	オ 語彙・語法の整理	・賛否の立場を明確にし、自分の意見を論理的に話す	6	
1		・テーマに沿った英文の読み方に従いながら、色々なテーマの英文を読み、応用できるように練習をする。	様々なテーマの英文を読み、学習した読み方を応用する。	10	ワークシート、 振り返りシート、 パフォーマンステスト、 英作文
2			・要点や詳細を理解する		
3			・意見発表の準備として図解することができる ・自分の意見を論理的に話したり、書いたりする		

計 64 時間 (55 分授業)

6 課題・提出物等

共通テストドリル10minutes リーディングのワークシート、リスニングのディクテーション

7 担当者からの一言

- (1) 授業について
 - ① 目標時間を意識して英文を読み設問に答えます。わからない語彙も辞書なしで読み進めます。
 - ② 間違えた箇所を中心に授業で疑問を解消します。
- (2) 復習について
 - ① 一文ずつ丁寧に英文解釈をします。
 - ② 理解した後に音声聞き音読します。
- (3) 毎時の目標を意識して、場面や状況に応じた英文の違いを味わい、その背景にある文化や歴史を理解します。

教科(科目)	外国語（英語セミナーA）	単位数	単位	2単位	学年(コース)	3 学年
使用準教科書	be English Logic and Expression III Clear（いっずな書店） PANORAMA English CommunicationIII（大修館書店）					
副教材等	電子辞書					

1 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （１）日常的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、使用する語句や文、対話表現を適切に用いることができる。
- （２）日常的な話題について、相手や状況に応じて情報や考え、気持ちを話して伝え合うことができる。
- （３）日常的な話題について、習得したことを基にやりとりを続け、会話を発展させることができる。

2 指導の重点

進路が多岐にわたる中で、協働学習をとおして基本的なコミュニケーションを図る方法を習得する。活動の中で色々な意見や考えに触れて視野を広げることを目指します。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞く、読む、話す[やり取り・発表]、書くために必要となる語彙や表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題についての説明を読み取っていたり、情報や考えを理由とともに伝えたりする技能を身につけている。	日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、相手や状況に応じて伝えている。世界の問題を説明するために、諸問題の書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えている。	日常的な話題や社会的な話題についての意見や考えを、習得したことを基に活用して多様な表現で伝えようとしている。社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、概要や要点を捉えようとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・レポートやワークシート、自由英作文、提出物などの内容の確認 ・作品制作の表現の観察などから、評価します。	・授業中の発言、発表への取組の観察 ・レポートやワークシート、自由英作文 ・提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。	・授業中の発言、発表への取組の観察 ・レポートやワークシート、自由英作文 ・提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Lesson 1 A City Worth Visiting	街を紹介する	・国内外の街について話したり, 文章を書いたりする。	8	ワークシート、 パフォーマンス テスト
5	Lesson 2 Our Hometowns	生まれ育った街について話す	・街の課題について話したり, 文章を書いたりする。		
6	Lesson 3 What Makes a City Attractive?	魅力ある街づくりの提案	・街づくりの提案について話したり, 文章を書いたりする。	6	
7	Lesson 4 How Do You Spend Your Time?	時間の過ごし方	・ひとり時間の過ごし方について話したり, 文章を書いたりする。	8	
	Lesson 5 Trying Something New	スポーツを始める	・スポーツについて話したり, 文章を書いたりする。	6	
8	Lesson 6 The Art of Translation	翻訳が伝えるもの	・映画の日本語版と英語版の違いについて話したり, 文章を書いたりする。	8	ワークシート、 パフォーマンス テスト
9					
10	Lesson 7 Combatting Climate Change	気候変動について考える	・環境問題について話したり, 文章を書いたりする。	8	
	Lesson 8 Future Energy Sources	これからのエネルギー源	・再生可能エネルギー, 洋上電力発電について話したり, 文章を書いたりする。		
11	Lesson 9 Discussing the Environment	環境問題について話し合う	・環境問題に関する意見について話したり, 文章を書いたりする。	6	
12	Lesson 10 Globalization and Immigration	グローバル化のためにできること	・外国人労働者の受け入れについて話したり, 文章を書いたりする。	6	
1	LESSON 11 What is Fair Trade?	貧困のない世界へ	・世界の貧困について話したり, 文章を書いたりする。	6	ワークシート、 英作文
2				6	
3	LESSON 12 Helping to Fight Poverty	フェアトレード	・フェアトレードについて話したり, 文章を書いたりする。	4	

計 72 時間 (55 分授業)

6 課題・提出物等

活動教材、プリント等

7 担当者からの一言

(1) 予習について

授業で扱われる単元にはあらかじめ目を通し、わからない語句は辞書で調べてください。

(2) 授業について

①1週間に1時間(前半)はJTEと教科書を使って表現や語句の整理、活動の準備をします。

②1週間に1時間(後半)はALTを交えたチームティーチングです。表現活動を行います。

(3) 復習について

授業の活動で行ったこと、身につけた表現を、家でもう一度やってみましょう。

(4) 家庭学習について

課題として出されたパフォーマンスに真剣に取り組みましょう。

(5) その他

①ALTと積極的に英語でコミュニケーションを取る態度を養いましょう。

②活動や発表に挑戦することで、場面に沿った英語の表現を身につけましょう。

教科(科目)	数学(数学総合Ⅰ)	単位数	単位	2	学年(コース)	3年生(文系)
使用準教科書	新編 数学Ⅰ(数研出版) 新編 数学A(数研出版)					
副教材等	新課程リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C(数研出版) 共通テスト対策【実力養成】数学Ⅰ・A 30分演習改訂版					

1 学習目標

数学的な見方・考え方を働かせて、数学的活動を通じて、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して社会の事象などから設定した問題に対して、相互に関連付けて論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
--

2 指導の重点

数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数、確率及び図形について、技能の習熟を図り、関連付けた発展的内容に取り組むことで、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、数学的に考える資質・能力を高める。
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
評価の観点	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 検査点 90%	評価の割合 40/100点 小テスト・課題提出 10% 検査点 90%	評価の割合 20/100点 各観点での振り返りへの取り組み状況・授業態度 100%

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
1 学 期	数と式（Ⅰ）	3	複数の文字を含む因数分解 絶対値を含む不等式	【知識・技能 a】 基本的な概念，原則・法則を理解し，知識を身につけて，それらを利用するの確に処理・表現することができる。 【思考力・判断力・表現力 b】 問題を多面的に見たりして，いろいろな問題の事象の考察に活用することができる。 【主体的に取り組む態度 c】 各単元での振り返りにより，学習内容が理解できる。学習内容を応用問題への考察に活用し，積極的に考え方を伝えている。	課題考査
	集合と命題（Ⅰ）	2	集合の要素の決定 背理法による証明		中間考査
	2次関数（Ⅰ）	4	最大・最小からの係数決定 2次方程式の解の存在範囲		
	図形の計量（Ⅰ）	1 4	三角形と正弦の比 三角形の外接円，内接円 円に内接する四角形の面積 測量への応用		
	データの分析（Ⅰ）	2	箱ひげ図に関する正誤問題 変量の変換		
	場合の数と確率（A）	3	組合けの方法の数 最短経路の数 反復試行と点の移動 原因の確率		
2 学 期	図形の性質（A）	1	4 点が 1 つの円周上の証明 正多面体の体積	期末考査	
		4		課題考査	
	数学Ⅰ A 総演習	9 13	様々な分野の応用問題を分野横断的にグループで相談しながら、問題解決能力を養う。	中間考査	
	14	期末考査			
3 学 期	探究課題	4	〔課題学習〕 他の単元との関連について考え，さまざまな別解を考えることで総合的かつ多角的に課題を扱う。	期末考査	

6 課題・提出物等

- ・定期考査ごとに課題の取組を点検します。
- ・提出物（タブレットに配信した課題も含みます）への取組を点検します。

7 担当者からの一言

数学総合Ⅰでは、1学年に履修した数学Ⅰ・Aの内容のを復習し、発展的な問題を解く力を養っていきたいと思います。問題を1回だけ解けば身につくものではありませんので、家庭での復習を大切にして力をつけていってください。